

令和 5 年度

第 1 回 大洲市総合教育会議

日時：令和 5 年 7 月 3 1 日（月）

午後 3 時 0 0 分～

場所：大洲市役所 市庁舎 3 階第 1 会議室

大洲市・大洲市教育委員会

目 次

議題1 令和5年度主要事業の概要と進捗状況

1 市内産木材を活用した学校机等の更新	1
2 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） の充実と推進	3
3 中学校地域部活動推進事業	5
4 学校給食センター次期事業基本方針の検討	6
5 大洲市立幼稚園・保育所再編計画に基づく事業推進 及び次期計画策定の準備	7
6 土曜一日保育の実施に向けた取組	9

議題2 関連計画 10

【資料2】

（仮称）大洲市人口減少対策プランの策定に向けた取組方針（案）

議題3 その他 11

令和5年度 主要施策・事業調書

(担当課) 教育総務課

事業名	1 市内産木材を活用した学校机等の更新
目的	市内小中学校の普通教室、特別支援教室の児童・生徒の机、椅子については、全体の約7割（2,169セット／3,112セット）が購入から20年以上経過し、机の歪みや裂け、へこみなど経年劣化による損傷がみられるほか、机のサイズが旧JIS規格で小さく、A判の教科書や学習用端末を使用した授業に不向きであることから、計画的に更新を行う。 更新に当たっては、脱炭素社会の実現のため、公共建築物の木造・木質化だけでなく学校用家具においても地域材の導入促進が強く求められていることから、市内産木材を活用した学校机・椅子の整備を実施し、木材の地域内の循環を図る。
事業概要	◆更新の方針 1 更新台数は、就学人口の減少も見込み、1,500セットとする。 2 更新する机・椅子は全て新JIS規格とし、天板、座板やフレームなどの主要な部分は市内産の木材を使用する。 3 製作に当たっては、金額だけでなく、機能性、耐久性やデザイン性など様々な観点から検討が必要であることから、公募型プロポーザル方式とする。 4 更新費用の財源は、森林環境譲与税と公益財団法人梶山教育振興会の補助金を活用する。 5 更新期間は、財政負担の平準化・財源確保も鑑み、令和5年度から9年度までの5年間とする。
予算額	24,300千円
実施状況	◆ 事業スケジュール（公募型プロポーザルの実施） <令和5年度> 3月20日 公告 4月20日 参加申込書提出期限（参加申込 大洲市森林組合） 7月25日 プレゼンテーション及びヒアリングの実施 8月 審査結果通知 及び 業務委託契約締結 9月～机・椅子の製作（市内産木材の確保） 令和6年3月 学校へ納品 納品先：市内中学校8校（中学校3年生教室） 納品数：300セット <令和6年度以降> 毎年、机・椅子を300個製作し、学校へ順次納品

児童生徒用木製机 椅子製作業務 資料

1 主な仕様

- (1) 材料 大洲市産木材（使用樹種については参加者提案）
- (2) 数量 児童生徒用木製机椅子 300セット/年度
- (3) 天板サイズ（机） 新JIS規格（W650×D450mm）
- (4) 座面サイズ（椅子） 既製品（第一工業製）に準ずる
- (5) その他
 - ① 姿勢維持に適した形状や加工とすること
 - ② 上下可動式高さ調整で、概ね新JIS規格に準ずること
 - ③ 部品交換の方法が検討されており、交換部品の調達、修繕等の対応ができること
 - ④ 机は10.5kg以下、椅子は4.5kg以下とし、できるだけ軽量化を図ること
 - ⑤ 通常の利用で、転倒、変形及び破損が起こらないよう構造強度を検討すること
 - ⑥ 机・椅子の脚部が床とこすれて傷をつけたり、大きな音を立てたりすることを防止する対策をとること

2 就学人口の推移（R6以降は見込）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
小学校	2,088	2,064	1,973	1,919	1,798	1,722	1,670	1,563
中学校	1,027	1,021	1,033	1,020	1,061	1,050	1,020	977
合 計	3,115	3,085	3,006	2,939	2,859	2,772	2,690	2,540

令和5年度 主要施策・事業調書

(担当課) 生涯学習課

事業名	2 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の充実と推進
目的	放課後児童クラブの実施体制の充実を図るため、引き続き、入所定員の増加による待機児童の解消に努めるとともに、保育環境を改善する。 また、子育て世代のニーズ把握に努めるとともに、延長保育や土曜保育等について調査・研究を進める。 さらに、保育を実施する上で最も重要である支援員の確保を行うため、様々な手段により意欲ある支援員の確保に努める。
事業概要	1 喜多児童クラブ3の新設 令和5年4月1日時点において、定員60人で運営している喜多児童クラブ1及び定員18人で運営している喜多児童クラブ2は、入所を希望する1年生から3年生までの計90人（クラブ1：72人、クラブ2：18人）を受け入れているが、待機児童が3年生6人、4年生10人という状況となっている。また、4年生以上の希望する児童が児童クラブの利用を諦めている状況にあることから、喜多児童クラブ3を新設し、クラブの拡充を図る。 2 子育て世代のニーズ把握と調査・研究 ・市長が子育て世代の保護者と直接意見交換を行う「市長と大洲市PTA連合会女性会との懇談会」の開催 ・延長保育、土曜保育の実施状況及び支援員配置状況等の確認などの調査・研究の実施 3 支援員確保 意欲ある支援員の確保に努める。特に、常勤支援員の確保を優先課題として取り組む。
予算額	1,829千円
実施状況	1 喜多児童クラブ3の新設（定員45人） ・6月 改修工事発注 待機児童家庭への通知 ・7月 改修工事完了、開設準備 ・7月21日 開設 2 子育て世代のニーズ把握と調査・研究 ・4月26日（水）「市長と大洲市PTA連合会女性会との懇談会」開催 ・通年 延長保育、土曜保育の実施状況及び支援員配置状況等の確認などの調査・研究及び主任会等での話し合いの実施

3 支援員確保

・ 5 月 市公式ホームページ、地区回覧、ハローワーク大洲で募集

・ 随時 現在勤務している支援員への声掛けを行い、友人や知り合い等の紹介を依頼

備考

※5月以降の支援員応募状況

令和5年7月7日現在

募集方法	常勤支援員	非常勤支援員	計
公式ホームページ	0	0	0
地区回覧	1	3	4
ハローワーク	2	1	3
紹介	5	4	9
計	8	8	16

上記のとおり、応募者は合計で16人だが、面接や施設見学の結果、採用に至った人数は14人となっている。

※支援員配置状況

令和5年7月7日現在

クラブ	既配置 常勤支援員	新規配置 常勤支援員	既配置 非常勤支援員	新規配置 非常勤支援員	計
大洲1	3		8	2	16
大洲2	2	1			
喜多1	5	2	8		21
喜多2	2				
喜多3	1	3			
平	3	1	4		8
久米	2	1	3	2	8
平野	2		5		7
菅田	4		5		9
新谷	2		3	1	6
三善	2		5		7
栗津	2		6	1	9
長浜	4		7		11
肱川	2		3		5
河辺					
計	36	8	57	6	107

令和5年度 主要施策・事業調書

(担当課) 文化スポーツ課

事業名	3 中学校地域部活動推進事業
目的	少子化の中でも将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目指す。国、県のガイドラインを踏まえつつ、学校部活動が生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境となるよう、適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方について示すとともに、休日部活動の地域移行に係る新たな地域クラブ活動を整備する。
事業概要	地域スポーツクラブ活動体制整備事業 【大洲市地域部活動推進協議会】389 千円 ▽ 推進協議会の設置 ▽ 地域移行にかかる調査研究 ▽ 地域部活動整備計画の策定 【運動部活動の地域移行に向けた実証事業】1,342 千円 ▽ 実施種目：軟式野球及びカヌー ▽ 実施主体団体：●● ▽ 指導者の確保、連絡調整 ▽ 活動場所の確保、活動備品・用具の調整 ▽ 生徒の送迎、安全確保 ▽ 会費（負担金）の徴収 ▽ 実証事業における検証
予算額	1,731 千円
実施状況	(事業スケジュール) 4月～ 地域部活動推進事業検討班会の設置～協議 7月～ 地域部活動推進協議会の設置～協議 実施主体団体●●と契約 周知用リーフレット作成 8月～ 地域部活動整備計画策定 保護者等説明会 10月～ 実証事業開始(年度内10回程度) 令和6年 2月～ 実証事業検証
備考	

令和5年度 主要施策・事業調書

(担当課) 学校給食センター

事業名	4 学校給食センター次期事業基本方針の検討
目的	P F I 事業により維持管理・運営を実施しているが、令和9年3月末で契約期間が満了となる。このことから、次期事業に向けての事業方式及び事業スキーム等後継事業の基本方針を検討・策定する必要がある。
事業概要	事業期間満了前に、適切に事業評価等を実施し、現P F I 事業における効果、問題等を明らかにするとともに、次期事業手法について検討する。次期事業手法にあたっては、さらなる民間の相違工夫を活用する場合には、事業評価等の結果を踏まえ、民間活用等の手法を検討していく。
予算額	0千円
実施状況	令和5年度 「事後評価に向けた情報整理」 ①事業の概要・効果（業績評価指標等の推移を整理する。） ②事業の収支・費用等の内訳整理（事業者の収入・支出の推移を整理する。） ③修繕履歴の整理、施設・設備の劣化状況の把握（これまでに実施した修繕等の実施状況を整理する。また、劣化状況等を確認し、期間満了時までに修補すべき箇所を整理する。） ④次期の大規模修繕把握（次期事業手法の検討にあたって、大規模改修が必要となる時期や内容等を整理する。） ⑤物品台帳整理（物品の管理状況を整理する。）
備考	

令和5年度 主要施策・事業調書

(担当課) 子育て支援課

事業名	5 大洲市立幼稚園・保育所再編計画に基づく事業推進 及び次期計画策定の準備
目的	現計画における施設再編に伴う施設整備や解体工事を進捗させることで、災害復興や施設の老朽化問題の解消を図るとともに、跡地利用の促進を図る。 一方、今後の更なる人口減少や少子化の進展下においても質の向上を伴う持続可能性の高い子育て行政を実現させるため、様々な視点から現状把握と今後の分析などを行い、次期計画策定に向けた素案を作成する。
事業概要	1 大洲市立幼稚園・保育所再編計画に基づく事業推進 (1) 八多喜こども園(仮称)(以下、「八多喜」)の整備 平成30年豪雨災害により被災した三善保育所と老朽化の著しい栗津保育所を統合し、多様なニーズに応えるため認定こども園として整備する。 (2) 徳森こども園(仮称)(以下、「徳森」)の整備 老朽化の著しい徳森保育所の改築移転とともに、多様なニーズに応えるため認定こども園として整備する。また、既存の公立施設を補完するため、医療的ケア児の受入れ機能を構築する。 (3) 閉所施設の解体工事 閉所した旧白滝保育所(以下、「白滝」)と旧大成保育所(以下、「大成」)の有効な跡地利用を促進させるため、それぞれの解体工事を進める。 2 次期計画策定の準備 (1) 老朽化施設の改築内容の検討 (2) 統廃合の検討 (3) 子育て支援施策拡充の検討
予算額	135,956千円(子育て支援課予算)
実施状況	1 大洲市立幼稚園・保育所再編計画に基づく事業推進 令和4年度 八多喜 用地取得・造成設計 令和5年度 八多喜 造成工事・建築設計、徳森 用地取得・改築設計 白滝 解体設計、大成 解体設計 令和6年度 八多喜 建築工事(着手)、徳森 改築工事(着手) 白滝 解体工事、大成 解体工事 令和7年度 八多喜 建築工事(完了)、徳森 改築工事(完了) 2 次期計画策定の準備 令和5年度 次期計画素案作成 令和6年度 市民との合意形成(子ども・子育て支援事業計画【こども計画】策定と同調) 令和7年度 施行
備考	

大洲市立幼稚園・保育所再編計画スケジュール（R5.7現在）

	施設名	R1年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)	R7年度 (2025年度)	R8年度 (2026年度)	備考
統合・再編	保育所＋保育所	（三善保育所） （粟津保育所）	用地検討	新園舎設計	新園舎建築	用地取得 造成設計 新園舎 認定こども園 運営開始	造成工事 新園舎設計	建築工事	新園舎 認定こども園 運営開始	三善保育所は 新園舎完成まで 休所
	（菅田保育所）		認定こども園 移行準備	菅田こども園 運営開始						
	（大成保育所）	休所	菅田保育所へ統合後、閉所				解体設計	解体工事		完了
	幼稚園＋保育所	（大洲保育所）	増築設計	増築工事	大洲こども園 運営開始					
	（肱南保育所）	仮園舎保育	認定こども園へ統合後、閉所、解体							完了
	（大洲幼稚園）		認定こども園へ統合後、閉園							
	（喜多幼稚園） （肱北保育所）	認定こども園 改修設計・工事	東大洲こども園 運営開始							改築検討 改築着手時期 については要 検討
	（肱川幼稚園） （肱川保育所）	認定こども園 移行準備		肱川こども園 運営開始						完了
	改築	（徳森保育所）		改築設計	改築工事	用地取得 改築設計 新園舎 認定こども園 運営開始	改築工事	新園舎 認定こども園 運営開始		
	統合検討	（南久米保育所）		統合を検討						
認定こども園化検討	幼稚園	（白滝保育所）	統合を検討			統合・閉所 解体設計	解体工事			
	（久米幼稚園）									
	（平野幼稚園）									
	（河辺幼稚園）			（休園）	（休園）					
	保育所	（喜多保育所）	認定こども園化及び子育て 支援施策拡充の検討							子育て世代の 意向、保育 ニーズを把握 した上で、施 設の統廃合や 再編、認定こ ども園化を検 討
	（新谷保育所）									
	（長浜保育所）									
	（大和保育所）									

※「統合検討」及び「認定こども園化検討」対象施設については、検討期間内に今後の方針を決定し、その準備を開始します。

令和5年度 主要施策・事業調書

（担当課） 子育て支援課

事業名	6 土曜一日保育の実施に向けた取組
目的	保護者の多様な働き方等による、保育所・こども園等の公立施設における土曜一日保育に対するニーズに応え、「子育てしやすく働きやすい大洲市」を実現するため、令和6年度から市内中心部1施設での土曜一日保育実施を目指すとともに、公立施設での土曜一日保育の有効性を見定める。
事業概要	これまで、土曜一日保育を実現する上での懸案であったマンパワー不足を、えひめ人口減少対策総合交付金事業「UIJターン保育士支援事業」の活用・周知や、県内の大学等で行われる企業説明会への積極的な参加等により課題解消を図り、令和6年度における市内中心部1施設での土曜一日保育実施に繋げる。
予算額	—
実施状況	○5月 えひめ人口減少対策総合交付金事業計画書の提出 ○5～7月 保育士募集について周知活動 ・ 県内保育士養成学校訪問 ・ 大学内個別説明会参加 ・ 愛媛県保育関係者交流セミナー参加 ○9月 実施施設の決定 ○10月 保育所入所に係る募集要領への掲載、保護者への周知 ○1月 保育士配置の確認 ○2～3月 関係法令整備 ○4月 実施
備考	

議題２ 関連計画

【資料２】

(仮称)大洲市人口減少対策プランの策定に向けた取組方針（案）

議題3 その他